

11月レポート 「2つの変化」

11月に入り、早くもフィンドレーでは雪が降りました。いよいよ本格的な冬が始まります。11月レポートでは、ボストンでの就職活動イベントと秋学期終了間際の引っ越しについて述べたいと思います。就職活動を通じ自分に変化を感じ、また生活環境の変化に新鮮さを感じています。

1. ボストンキャリアフォーラム

私は11月8日～10日にかけて行われたボストンキャリアフォーラムに参加しました。これは日英バイリンガルを対象にした就職活動イベントで、1年に1度ボストンで開催されます。今年は日系、外資系企業合わせて200社以上が参加しました。もちろん留学中は基本的に大学での勉強が優先されますが、特に私のような大学3年生にとっては就職活動も非常に重要です。イベント前の準備や終了後授業に追いつくのは大変でしたが、留学と就職活動の両方に挑戦できたことは自信になりました。留学中の就職活動を通じて、自分が将来何をしたいのか、今の留学をどう生かしたいかなどを再度考えることができました。このイベントは人生設計を考える初めの一歩となり、以前より幅広い視点から留学の意味や将来の仕事について捉えられるようになった点で、自分に変化を感じています。

またイベント先での他留学生との交流は、フィンドレー大学だけには難しいことであり有意義に感じました。イベント終了後は知り合った留学生とボストンの街を散策しました。ボストンは高層ビルも多く、フィンドレーの穏やかな街とはまた違った雰囲気味わうことができました。普段のフィンドレーでの生活とは全く異なる3日間を過ごしました。



図1: ボストンキャリアフォーラム会場内

2. 引っ越し

秋学期も12月2週目までと残りわずかとなりましたが、今まで住んでいた1人暮らしの寮から3人でのシェアハウスに引っ越すことになりました。これからは、日本語を勉強しているアメリカ人、日本人留学生と住みます。以前の寮

が自分にとって勉強に適した環境とは言えなかったこと、家でも英語を使いたかったことが主な理由です。学期途中での引っ越しは稀なことです、積極的に先生方や事務の方に相談して、共同生活ができることになりました。今までとの大きな違いはやはり家でも英語を使うことができることです。引っ越しを終えてすぐ、アメリカ人の友人に日本語を教えるとき以外は英語を話すというルールを決めました。英語、日本語を日常的に教え合えて素晴らしい環境だと思います。留学生活では、より良い機会を得るために自分の意志で積極的に行動しなければならないと再度感じました。

図2：シェアハウス外見（2階のみ使用）



図3：シェアハウスロビー

